

Vol.19(2021) No.12(06/10)L03

トシリズマブの早期投与は重篤な SARS-CoV-2 感染患者の生存率の改善に関連する

[Early Tocilizumab Dosing Is Associated With Improved Survival in Critically Ill Patients Infected With Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus-2](#)

Petrak RM, Van Hise NW, Skorodin NC, et al.

【Crit Care Explor. 2021 Mar 29;3(4):e0395】-peer reviewed(査読済み)

(要旨)

◇目的

重篤なSARS-CoV-2感染患者に対する最も効果的なトシリズマブ投与のタイミングを特定する。

◇研究デザイン, セッティング, 被験者

本研究は多施設共同観察コホート研究であり, 2020年3月13日~4月16日に入院した患者118人を対象として, 米国内4州の急性期病院23施設で行われた。患者81人がトシリズマブを投与された。トシリズマブ投与を受けなかった37人を対照群とした。

◇主要アウトカム評価指標と主な結果

主要アウトカムは死亡率であり, トシリズマブ投与のタイミング別に解析した。早期投与は, 挿管前または挿管後1日以内のトシリズマブの投与と定義し, 後期投与は, 挿管後1日を超えてからの投与と定義した。標準治療のみ(トシリズマブ非投与)の群を対照として比較に用いた。早期のトシリズマブ治療は, トシリズマブ非投与患者と比較して, 統計的に有意な死亡率低下と関連していた($p=0.003$)。トシリズマブの後期投与は, トシリズマブ非投与群と比較して, 死亡率上昇と関連していた($p=0.006$)。

◇結論と関連性

トシリズマブの早期投与は, 重篤なSARS-CoV-2患者の死亡率低下と関連していたが, 投与時期が遅い場合は有害となる可能性が示唆された。